

台風が発達する熱帯低気圧の予報を延長します

気象庁は、台風接近時の防災行動計画（タイムライン）に沿った対応を効果的に支援するため、24 時間以内に台風が発達する見込みの熱帯低気圧の予報を、9 月 9 日からこれまでの 1 日先までから 5 日先までに延長します。

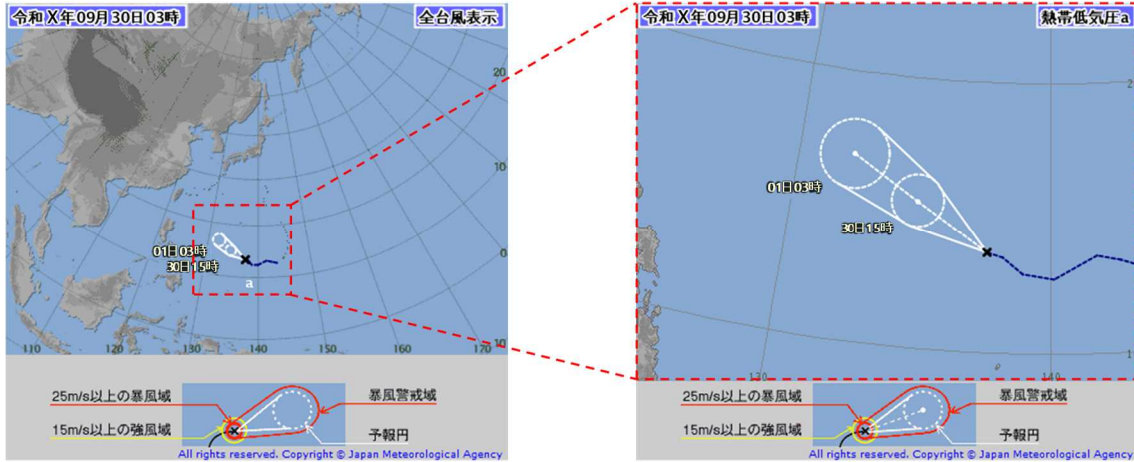
気象庁では、台風については 5 日先までの予報を提供していますが、24 時間以内に台風が発達する見込みの熱帯低気圧については、予報の誤差が大きかったため、1 日先までの予報としていました。

このことについて、平成 30 年（2018 年）6 月に更新したスーパーコンピュータシステムによる計算能力の向上や数値予報技術の開発などを進めた結果、熱帯低気圧の段階からの進路や強度の予測精度が向上しました。このため、令和 2 年（2020 年）9 月 9 日 15 時（日本時間）以降、24 時間以内に台風が発達する見込みの熱帯低気圧についても、5 日先までの予報を提供することとします（別紙）。

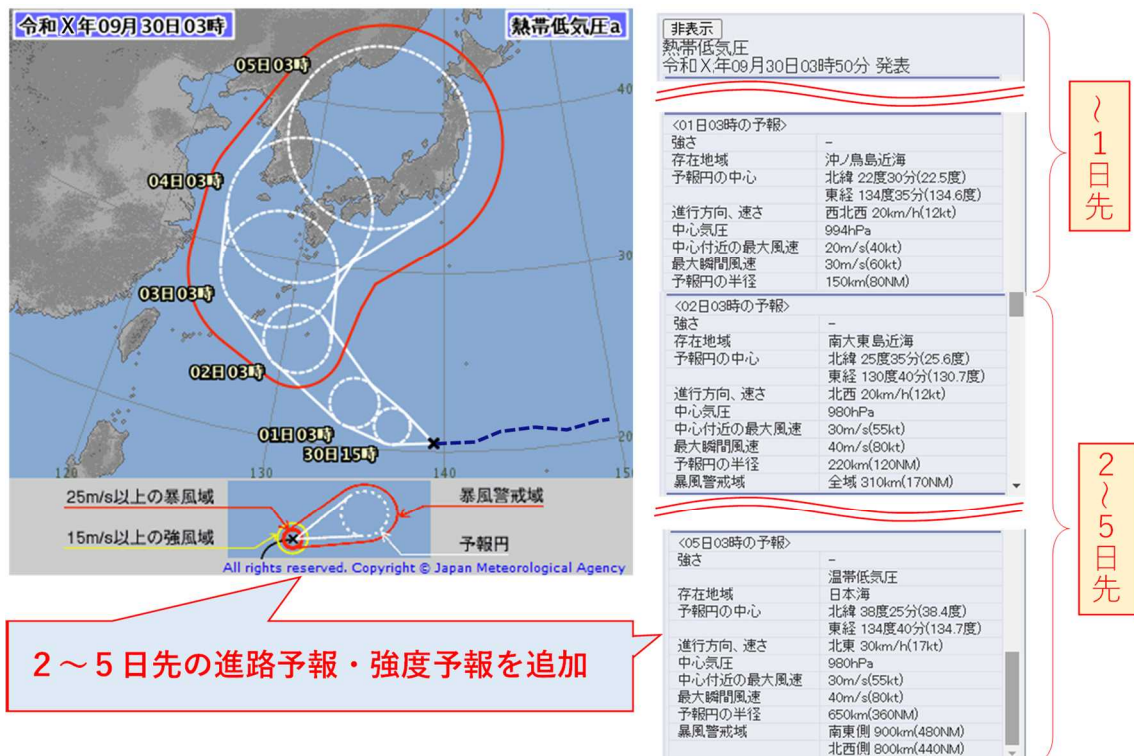
これにより、日本近海で台風になって日本へ接近する場合でも、台風接近時の防災行動計画（タイムライン）に沿った防災関係機関等の対応を、これまでより早い段階からより効果的に支援することが可能となります。

問合せ先：予報部予報課アジア太平洋気象防災センター 担当 笠原
電話 03-3212-8341（内線 3137）

＜現行の熱帯低気圧の予報（1日先まで）＞



＜熱帯低気圧の5日先までの予報＞



気象庁ホームページの表示イメージ

(※) 24時間以内に台風が発達する見込みの熱帯低気圧についての「台風の暴風域に入る確率情報」については、令和3年3月から開始する予定です。